

科目名	合唱2	授業期間	通 年
担当教員	阿部純	科目 No.	MME2213
受講対象	音楽教育（女子）2年	単位数	4単位

目 標 ／ 概 要	<p>目標：声楽アンサンブルに必要な声楽的発声の基礎を学び、ペルゴレージの「スタバト・マーテル」を中心に、西洋音楽の重要なジャンルである宗教曲や、芸術合唱曲を学ぶ。</p> <p>概要：合唱・重唱などを中心に、実践と講義を行う。</p>
-----------------	--

授 業 計 画	春 学 期					
	1	ガイダンス 授業で毎回行う発声の解説と実習。				
	2	ペルゴレージの「スタバト・マーテル」の解説1. スタバト・マーテルについて。				
	3	ペルゴレージの「スタバト・マーテル」の解説2. ペルゴレージについて。				
	4	「スタバト・マーテル」第一楽章 1. 音取り グラーヴェについての習熟。				
	5	「スタバト・マーテル」第一楽章 2. アンサンブル 一小節八振りの実習。				
	6	「スタバト・マーテル」第三楽章 1. 音取り ラルゲットについての習熟。				
	7	「スタバト・マーテル」第三楽章 2. アンサンブル 二部形式の実習。				
	8	「スタバト・マーテル」第五楽章 1. 音取り ラルゴからアレグロへのテンポの変化の習熟。				
	9	「スタバト・マーテル」第五楽章 2. アンサンブル ソロからの受け渡しとハーモニーの実習。				
	10	「スタバト・マーテル」第八楽章 1. 音取り フーガ形式の習熟。				
	11	「スタバト・マーテル」第八楽章 2. アンサンブル 四声のフーガの歌い方、主題とそれ以外のバランスの実践。				
	12	「スタバト・マーテル」第九楽章 1. 音取り アポジャトゥーラについて。				
	13	「スタバト・マーテル」第九楽章 2. アンサンブル 倍音について講義と実践。				
	14	ラテン語について、古典ラテン語と教会ラテン語に違い、発音の実践。				
	15	西洋音楽の中のキリスト教について、宗派やミサ曲について。				
	秋 学 期					
	1	「スタバト・マーテル」第十一楽章 1. 音取り アンティフォナについて。				
	2	「スタバト・マーテル」第十一楽章 2. アンサンブル 交唱の実践と習熟。				
	3	ミサ曲以外の宗教曲について。				
	4	後期バロック及び前古典について。				
	5	簡単なラテン語の文法（ミサ曲を中心に）				
	6	日本語の基本的発音について、「からたちの花」の実習。				
	7	「スタバト・マーテル」第十二楽章 1. 音取り 序章とフーガの習熟。				
	8	「スタバト・マーテル」第十二楽章 2. アンサンブル フィナーレの音楽効果の実践。				
	9	「スタバト・マーテル」前半のアンサンブル。				
	10	「スタバト・マーテル」後半のアンサンブル。				
	11	全曲の通し練習。				
	12	ソリスト・合唱と弦楽器とのオケ合わせ。				
	13	発表会。				
14	反省会と発表会のビデオを見る。					
15	まとめ 良い演奏についての提言。					

準備学習の内容	あらかじめ譜読みをしておくこと。また、授業中に指摘したことを理解し復習しておくこと。					
履修上の注意	秋学期に、音楽教育、声楽専攻のそれぞれ2学年、4授業で学内合同発表会を行う（12月1日予定）					
評価方法	試験	課題(レポート含)	発表	平常点	その他	合計
			○	○	○	100%
	補足	平常点と授業態度および発表会への出演を基準に採点				
教材等	ペルゴレージの「スタバト・マーテル」は移調楽譜を使用するため、プリントを配付する。					